

WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

月間運用実績レポート（2025年9月）

■ 9月のパフォーマンス

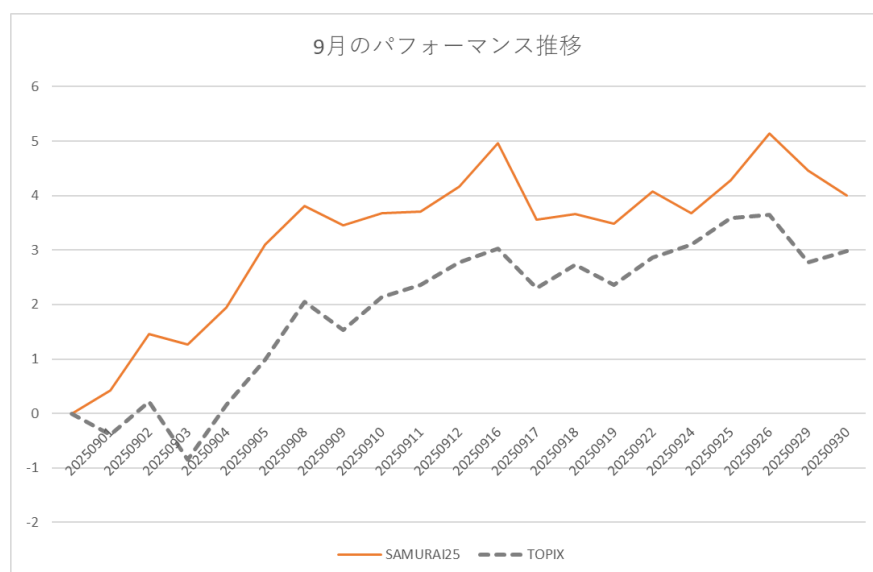
➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	+4.00%
9月末の受け取り配当予想利回り	1.82%

➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	+2.03%	(配当込み)	+2.98%
日経225	+5.18%		
NYダウ	+1.87%		
S&P500	+3.11%		
NASDAQ	+5.61%		

➤ 当月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI25	4.00%	18.83%	28.23%	24.18%	160.50%
TOPIX	2.98%	11.04%	19.39%	21.55%	101.69%
超過収益	1.02%	7.79%	8.84%	2.63%	58.82%

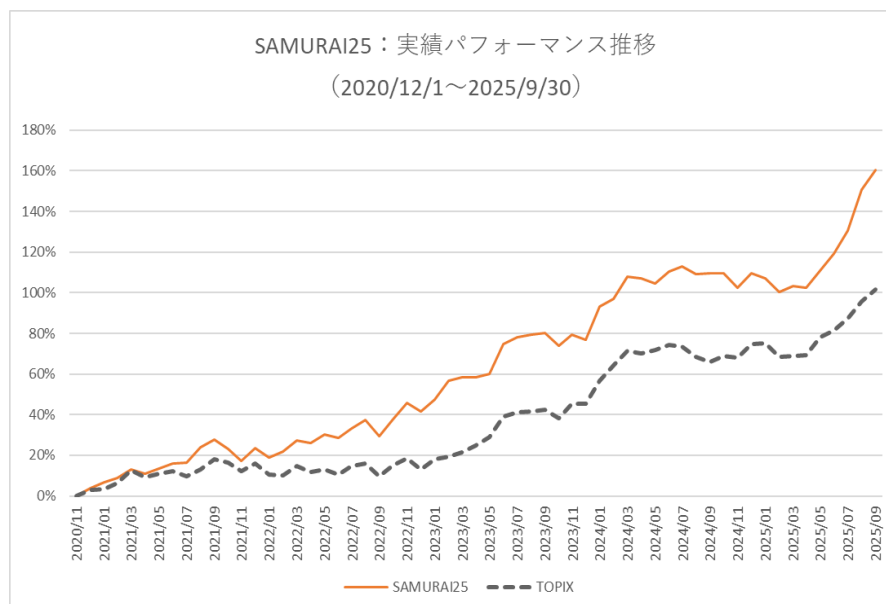
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています

SAMURAI 25の9月の運用成績は+4.00%（配当込み）、TOPIX +2.98%（配当込み）、対ベンチマーク比で+1.02%となり、ベンチマークをアウトパフォーム！！

➤ 設定来のパフォーマンス推移グラフ

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2025年9月末までの運用実績です。



運用成績	SAMURAI25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	24.19%	15.29%
累積リターン(2020/12-2025/9)	160.50%	101.69%

リターン（年率換算）	21.91%	15.62%
リスク（年率換算）	11.94%	10.67%
下方リスク(年率換算)	5.37%	5.53%
シャープ・レシオ	1.83	1.46
ソルティノ・レシオ	4.08	2.83

※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています

■ 9月の市況概況

➤ 日本市場

9月の日本市場は、米国ハイテク株高との強力な連動性を維持しつつ、石破総理辞任に伴う政局変化と日銀の金融正常化観測が主な変動要因となりました。日経平均株価は市場初の4万5000円台に乗せるなど、史上最高値の更新を続けました。しかし、実質賃金マイナス継続など経済の実態との乖離も指摘され、短期的な過熱感への警戒もくすぶりました。

・第1週（9月1日～9月5日）／日経225：+0.70% TOPIX：+0.98%

外部要因である中国アリババのAI半導体開発報道を受け、米NVIDIA株急落に連動し日経平均は大幅続落しました。特にアドバンテストなど半導体関連株が売られました。一方、米国の雇用減速を示唆する指標が相次ぎ、FRB利下げ期待が高まったことで株価は下支えされました。内部要因では、Nidecが不適切会計処理の可能性を発表しストップ安水準まで下落。日銀副総裁のハト派的な発言や政局の不透明感から円安が進行し、ドル円は一時148円台後半に達しました。

・第2週（9月8日～9月12日）／日経225：+4.07% TOPIX：+1.78%

石破総理の辞任表明を受け、次期政権による財政拡張政策への期待が強まり、東京市場は大幅高で反応しました。米国市場での利下げ観測加速（雇用統計の大幅下方修正）も追い風となり、日経平均株価は史上最高値の更新を継続しました。外部要因では、トランプ大統領が日本車への関税を27.5%から15%に引き下げる大統領令に署名し、自動車産業の不透明感が払拭されました。

・第3週（9月16日～9月19日）／日経225：+0.62% TOPIX：△0.41%

FOMCでの利下げ再開と、それに伴う過剰流動性相場への期待が波及し、日経平均株価は連日最高値を更新し、終値で初の4万5,000円台に乗せました。特にAI関連の半導体後工程市場（アドバンテスト、ディスコなど）への期待が高まり、指数を牽引しました。しかし、日銀が金融政策決定会合で政策金利を据え置く一方で、ETF・J-REITの売却を決定したことが市場にサプライズとなり、株価は一時大きく下落しました。会合では2人の委員が利上げを主張し、早期利上げ観測が残ったことで、円は一時円高に振れました。

・第4週（9月22日～9月26日）／日経225：+0.69% TOPIX：+1.25%

米国景気の底堅さを示す指標（GDP情報修正など）が相次ぎ、FRBの追加利下げ期待が後退し、米金利が上昇した結果、為替市場ではドル全面高・円安が進行し、ドル円は149円台後半に到達しました。この円安が輸出関連株への買いを広げ、日経平均株価は3日連続で最高値を更新しましたが、週終盤にはハイテク株の調整から4日ぶりに下落しました。内部要因では、9月東京都区部CPIは前年比2.5%上昇で横ばい、実質賃金は7ヶ月連続マイナスと、物価高による家計への圧迫が続きました。東証では、株式分割の公表が10年ぶりの高水準となりました。

・第5週（9月29日～9月30日）／日経225：△0.93% TOPIX：△1.55%

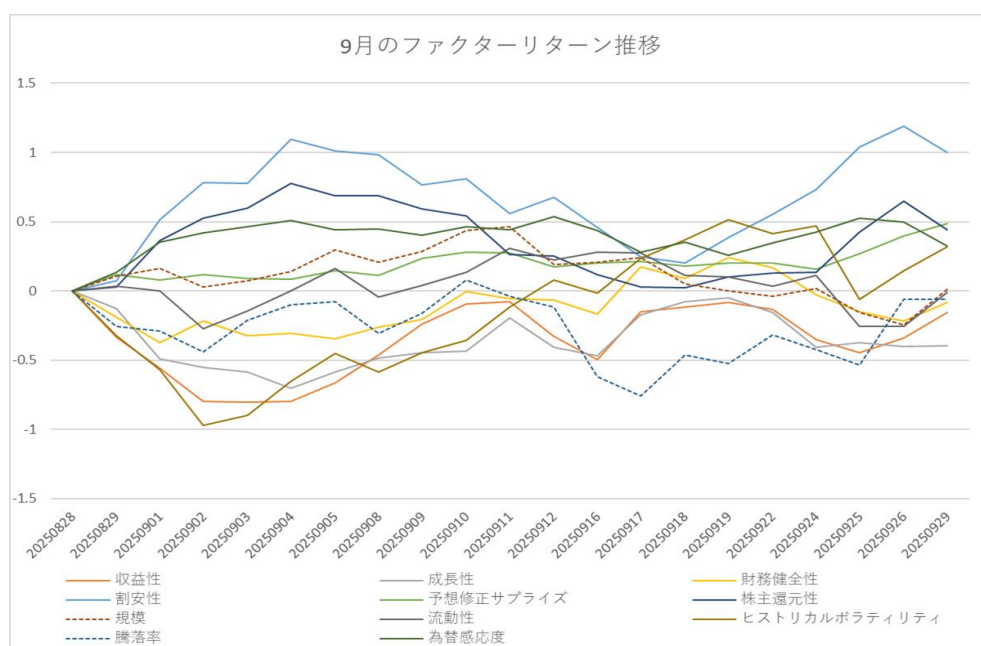
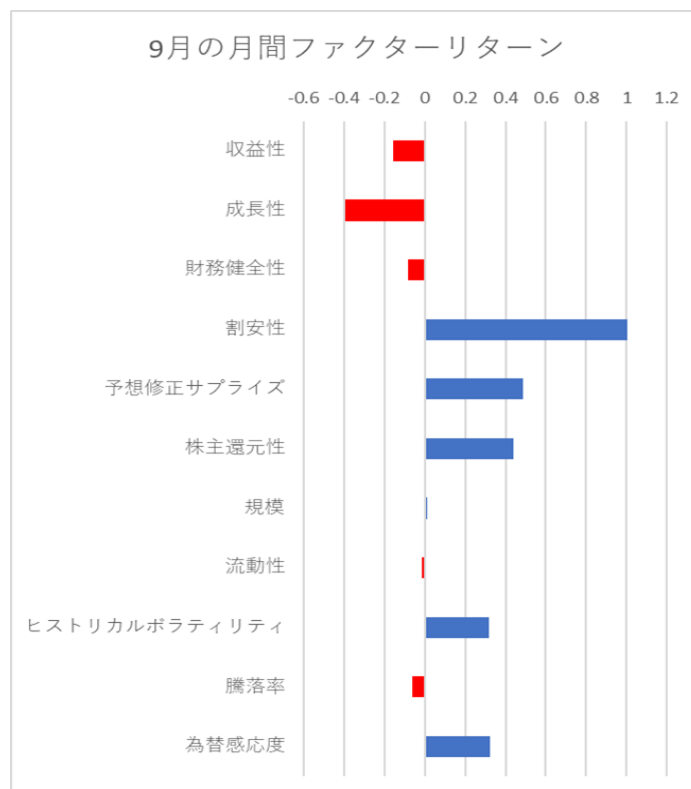
重要イベント（日銀短観、米国雇用統計、自民党総裁選）を控え、市場は様子見ムードとなりました。日銀の金融政策に関しては、野口審議委員のタカ派的な発言などから、10月利上げの市場織り込みが急上昇しました。

■ 月間パフォーマンスの背景

➤ ファクター動向

9月は、好業績・高配当のバリュー株が堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、割安性ファクター・予想修正サプライズファクター・株主還元性ファクターが大きくプラスとなる一方で、成長性ファクターがマイナスとなり、月初から9月中間配当取りの動きが出始め、月中は中だるみするも、再び権利付き最終日に向けてその動きが活発化するなか、好業績かつ高配当といった質の高いバリュー株へ資金が向かったことが見てとれます。



➤ ファクター寄与度

その様な市況環境のなか、SAMURAI 25は、市場平均であるTOPIXを大幅にアウトパフォームする結果となりました。

SAMURAI 25がTOPIXをアウトパフォームした要因は、SAMURAI 25が持つバリュー要素である「割安・高配当」特性が大きく寄与、さらに、市場平均よりもオーバーウエートしている予想修正サプライズファクターもプラスに寄与したことです。

また、**パラマウントベッドHD（7817）が24日の取引終了後にTOBを発表**し、24日の終値2,671円からTOB価格3,530円へサヤ寄せする形となり大幅上昇、これも大きくプラスに寄与しました。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度	
1	7817	パラマウントベッドホールディングス株式会社	2.1%	0.68%	
		医療・介護用ベッドや寝具、福祉機器の製造・販売を主軸とする企業グループの持株会社です。病院や介護施設、在宅介護向けに製品・サービスを提供しています。創業家の資産運用会社の傘下であるTMKRが1株3530円でTOBを実施すると発表し大きく上昇しました。			
2	8015	豊田通商株式会社	5.2%	0.40%	
		トヨタグループの総合商社です。自動車関連事業を中核に、金属・機械・エネルギー・化学品、食料・生活産業、アフリカビジネスなど、多岐にわたる事業を展開しています。自動車関連事業の好調が寄与し、直近の決算では増収増益を達成しました。アフリカ市場や再生可能エネルギー分野への積極的な投資・展開を継続しています。			
3	3465	ケイアイスター不動産株式会社	3.6%	0.29%	
		主に戸建分譲住宅の企画・開発・販売を行う不動産会社です。特に「デザイン性」「高品質」を追求した住宅を、手の届く価格帯で提供するビジネスモデルに強みがあります。主力の分譲住宅事業が好調で、販売棟数が大きく伸長しており、直近の第1四半期決算も好調でした。			
4	6941	山一電機株式会社	2.2%	0.27%	
		半導体製造装置で使用されるICソケットやコネクタなどの電子部品を開発・製造・販売しています。特に、半導体のテスト工程に欠かせないICテストソケットで高い技術力とシェアを持っています。半導体市場全体の動向に業績が左右されやすい側面がありますが、次世代半導体関連の需要取り込みに注力しています。			
5	5334	日本特殊陶業株式会社	1.7%	0.23%	
		スパークプラグ、グロープラグなどの自動車関連製品と、セラミックス技術を応用した半導体・医療・環境などの分野向け製品（テクニカルセラミックス事業）を展開しています。自動車向け製品は、新興国での需要増が期待される一方、EV化の流れの中で事業構造改革を進めています。テクニカルセラミックス事業では、次世代自動車関連や医療分野など、成長分野への注力を強めています。			

■SAMURAI 25の目的・特色

1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

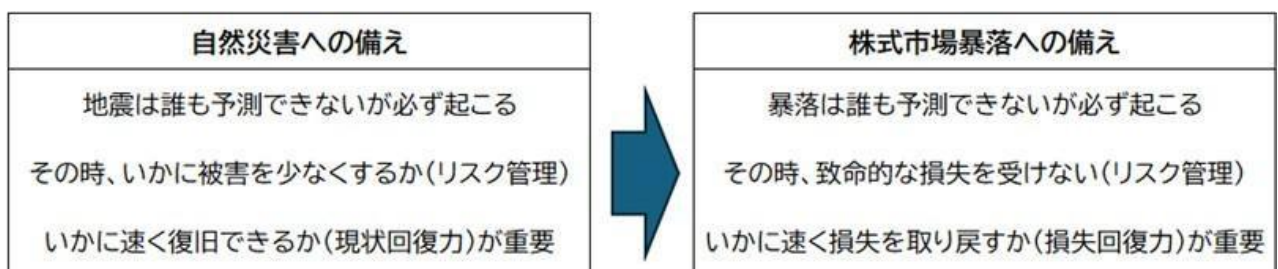
特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX ±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

3. 戦略のコンセプト

・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていれば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

4. ファクターの説明

SAMURAI 25は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	財務健全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
4	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
5	予想修正サプライズ	経常利益修正率、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	規模	上場時価総額、等
8	流動性	売買代金20日平均、等
9	ヒストリカルボラティリティ	ヒストリカルボラティリティ60日、等
10	騰落率	60日騰落率、等
11	為替感応度	ドル円に対する感応度

5. リスク管理

SAMURAI 25は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています、
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています。
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的にリバランスを行いリスク管理を行っています。

以上

※本レポートは、2025年 10月2日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)

免責事項

ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

<業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

重要事項

<手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

【投資一任契約の媒介業者】  Jトラストグローバル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 加入協会／ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	【口座管理機関】  株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号 加入協会／ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
--	---